

協働事業に関する企画書

団体名 狭山まちづくりリストの会

1 事業名	さやまサイクルタウン構想
事業の詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇お宝の選択と集中的磨き込みによる効果的なまちづくりイメージ構築</li> <li>◇市制60周年記念事業との連携可能性検討</li> <li>◇26年度お宝発見コースの開発及び検証</li> <li>◇関係団体との協働</li> <li>◇近隣他市との協働</li> </ul>
3 実施体制	<p>全体統括(八島藤夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>└ 企画立案コーディネート(吉岡勇三、牧めぐみ)</li> <li>└ 市内外の関係団体、市内関係自治会</li> <li>└ 調査(高橋勲)</li> <li>└ おもてなし事業(亀田 仁)</li> <li>└ 会計(佐野真代、中村シゲ子)</li> </ul>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <p>企画立案・コーディネート NPOや団体など市民団体間調整 コアとなる課題事項の調査及び夢構想提案 費用算出、調整及び執行</p>
	<p>【市の役割】</p> <p>市や県などの担当機関や部課との調整 地域情報の提供</p>
5 協働の効果	<p>市民団体は事業推進にあたり市民へのPRなど一団体では知名度や信用力が低いですが市との協働によってこれらを補うことができる。 市は従来の行政慣行を超えた地域振興が可能になる</p>
6 事業のアピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然景観、自然遺産、歴史遺産、農産物、工業製品などの価値(さやまの宝)を市民が共有化し、対外的なPRができる。</li> <li>・10年先の夢を市民みんなで語り一体感を生む。</li> <li>・サイクルシティは環境イメージや健康イメージを持ち新たなニーズが生まれるので狭山経済の活性化を誘引する。</li> </ul>